

釧路総合振興局記者クラブ配付資料

報道発表資料の配付日時 令和6年3月12日（火）11：00～

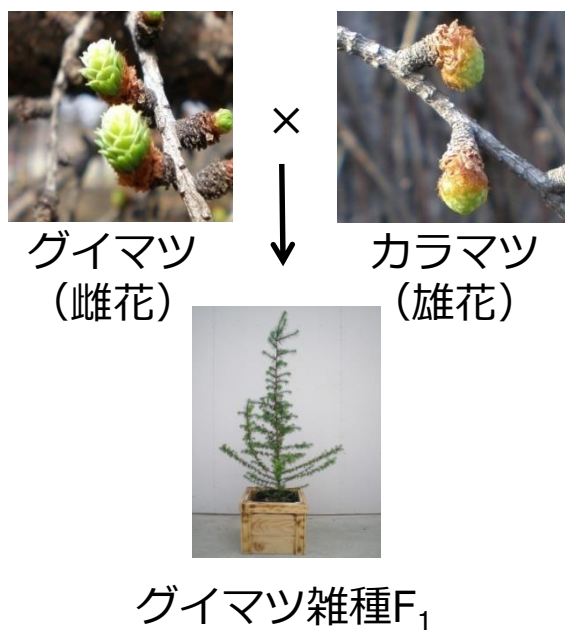
発表項目	「クリーンラーチの森造成事業に関する協定」調印式について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) 月 日 () 時 分	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道釧路総合振興局（振興局長 木村 英也）と釧路市（市長 蝦名 大也）は、ゼロカーボン北海道の目標達成と釧路管内の自然環境に配慮した森林づくりに資するため、「クリーンラーチの森造成事業に関する協定」を締結します。</p> <p>クリーンラーチは温室効果ガスの削減に高い効果を発揮する品種で、令和6年度から、毎年5.0haずつ植栽し、10年間で概ね50haのクリーンラーチの森を造成する計画です。 <u>クリーンラーチ苗木の集団的な植栽は、全国初の取組です。</u></p> <p>○行事の概要</p> <p>1 日時 令和6年3月19日（火） 午前10時30分～ 2 場所 釧路市役所 本庁舎2階 市長応接室 3 出席者 釧路市長 蝦名 大也 北海道釧路総合振興局長 木村 英也</p> <p>4 当日の内容 ① 「クリーンラーチの森造成事業に関する協定」の概要説明 ② 協定への署名 ③ 記念撮影 ④ 質疑応答 等</p> <p>○クリーンラーチについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 道立林業試験場と林産試験場が共同で開発した品種で、優良な形質をもつカラマツとグイマツをかけあわせて選抜したグイマツ雑種F1。 <u>炭素固定能力が高く（カラマツの最大1.2倍、トドマツの2倍以上）、初期の成長も速い上、野ねずみ食害への耐性にも優れる。</u> 木材としても、カラマツより材密度が高く、強度性能が高い（ヤング率が、カラマツの約1.2倍）品種。 		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	全国初の取組となり、脱炭素社会の推進を図るため、積極的な取材・報道をよろしくお願いします。
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク

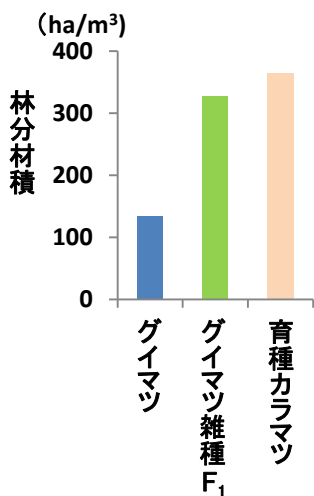
担当(連絡先)	釧路総合振興局産業振興部林務課（担当者：森林整備係長 小林） TEL：0154-43-9202
---------	--

グイマツ雑種F₁とは？

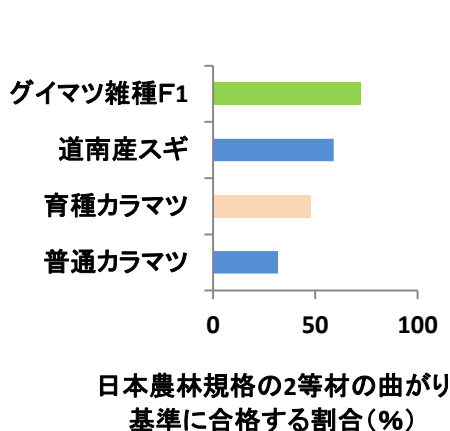
グイマツ雑種F₁は、サハリン、千島列島南部に分布する針葉樹「グイマツ」を母親、本州中央部に分布する針葉樹「カラマツ」を父親とする種間雑種です。



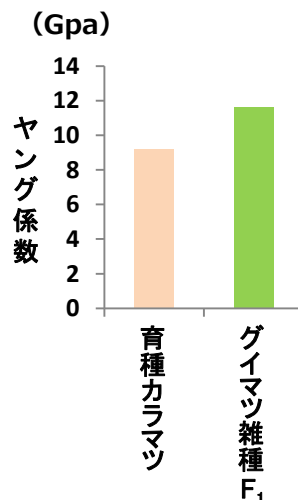
グイマツ雑種F₁は、グイマツより成長が早く、カラマツより幹の通直性と材の強度が高く、そしてグイマツとカラマツより生存率が高いという特徴があります。



林齢31年生の林分材積
3検定林 (美唄, 北見,
新冠) の平均



カラマツ類と道南産スギの
幹の通直性



グイマツ雑種F₁と品種改良されたカラマツのヤング係数 (ヤング係数は材の強度を表す指標)

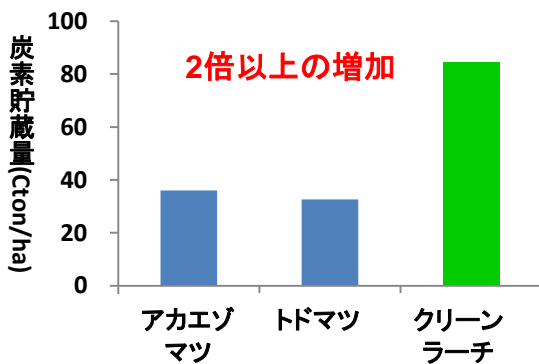
二酸化炭素吸収能力が高い 「クリーンラーチ」

樹木の炭素貯蔵量は材積成長量と材の比重で決まります。
(BOX1参照)

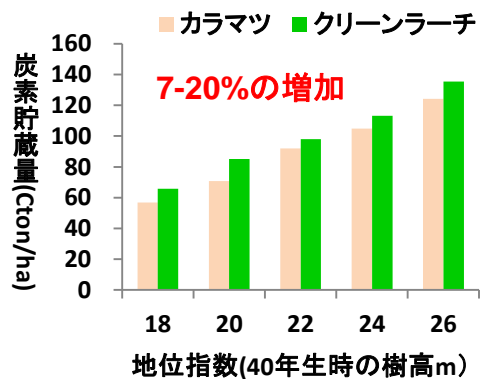
クリーンラーチはグイマツ雑種F₁のなかでも特に材積成長が優れ、高い二酸化炭素吸収能力を示します。

形質	クリーンラーチ	グイマツ雑種F ₁	育種カラマツ
林分材積m ³ /ha	354	327	364
31年生	(110)	(100)	(111)
材密度g/cm ³	0.547	0.544	0.504
28年生	(101)	(100)	(93)

()内の数値はグイマツ雑種F₁を100としたときの相対値
数値が大きい方が利用上優れている。



クリーンラーチと主要造林樹種の炭素貯蔵量の比較(林齢31年生)



地位指数別に見たクリーンラーチとカラマツの炭素貯蔵量の比較(林齢40年生)

他の優れた特徴として強度が高い材、真っ直ぐな幹があげられます。

BOX1 樹木の炭素貯蔵量の求め方

木に蓄えられている炭素量 = 材積 × 材の比重 × 材の炭素含有率*1 × 拡大係数*2

*1: 樹種に関係なく0.5

*2: 枝、葉、根を含めた樹木全体の炭素貯蔵量を求めるための係数。樹種、樹齢で変化する。カラマツでは、20年生以下が1.94、20年生以上が1.48